

「ピンクリボン活動みやざき2005の」

取り組みについて

～ 宮崎から乳がんが悲しむ女性を一人でも減らしたい ～



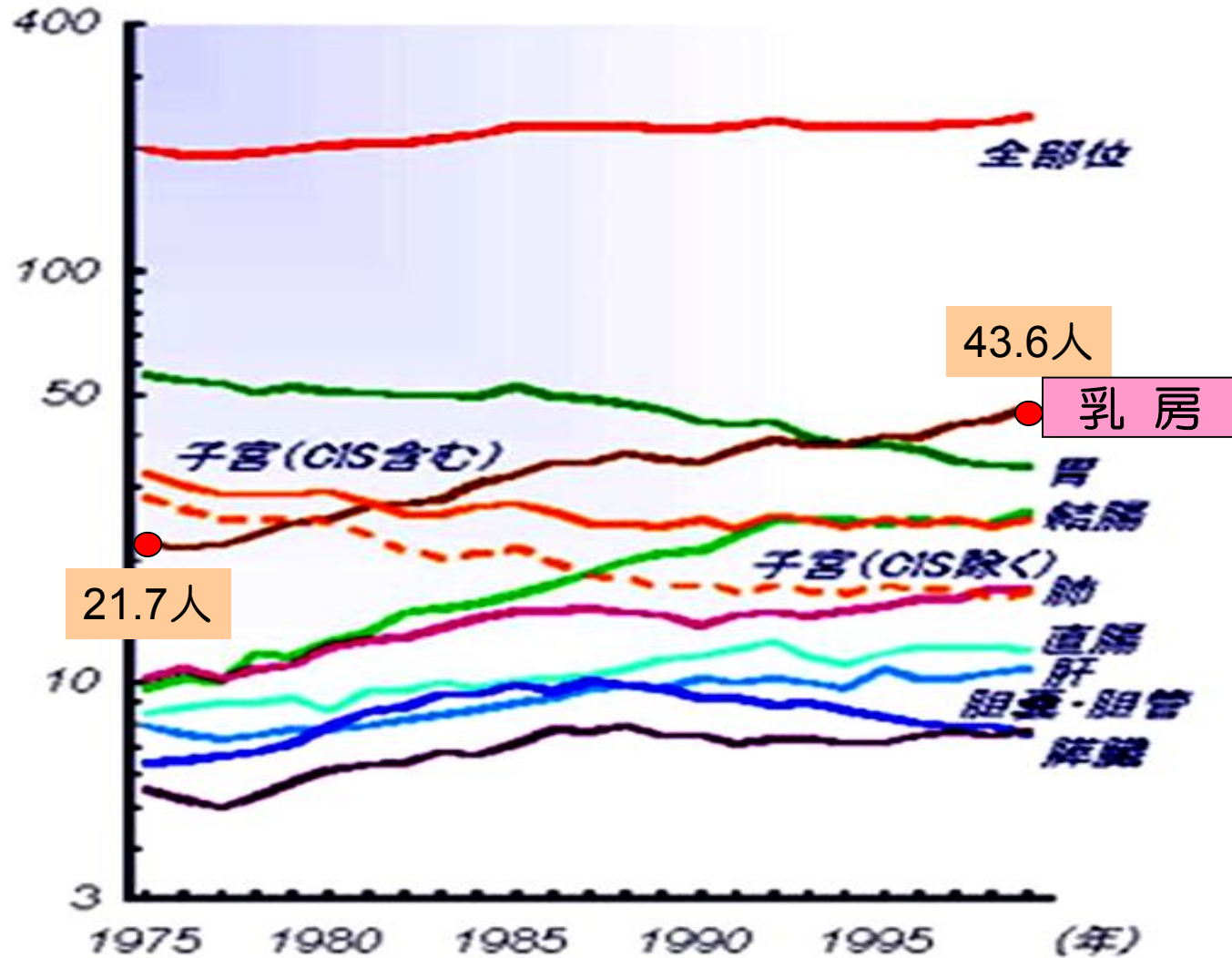
都城保健所 日高真紀

《方 法》

- 1) 問題の明確化と定義づけ
 - ・ 乳がん罹患率、死亡率の統計情報
 - ・ 乳がん検診受診状況
- 2) 民間主体としたピンクリボン活動の立ち上げ
- 3) ピンクリボン活動の展開
- 4) アンケート調査

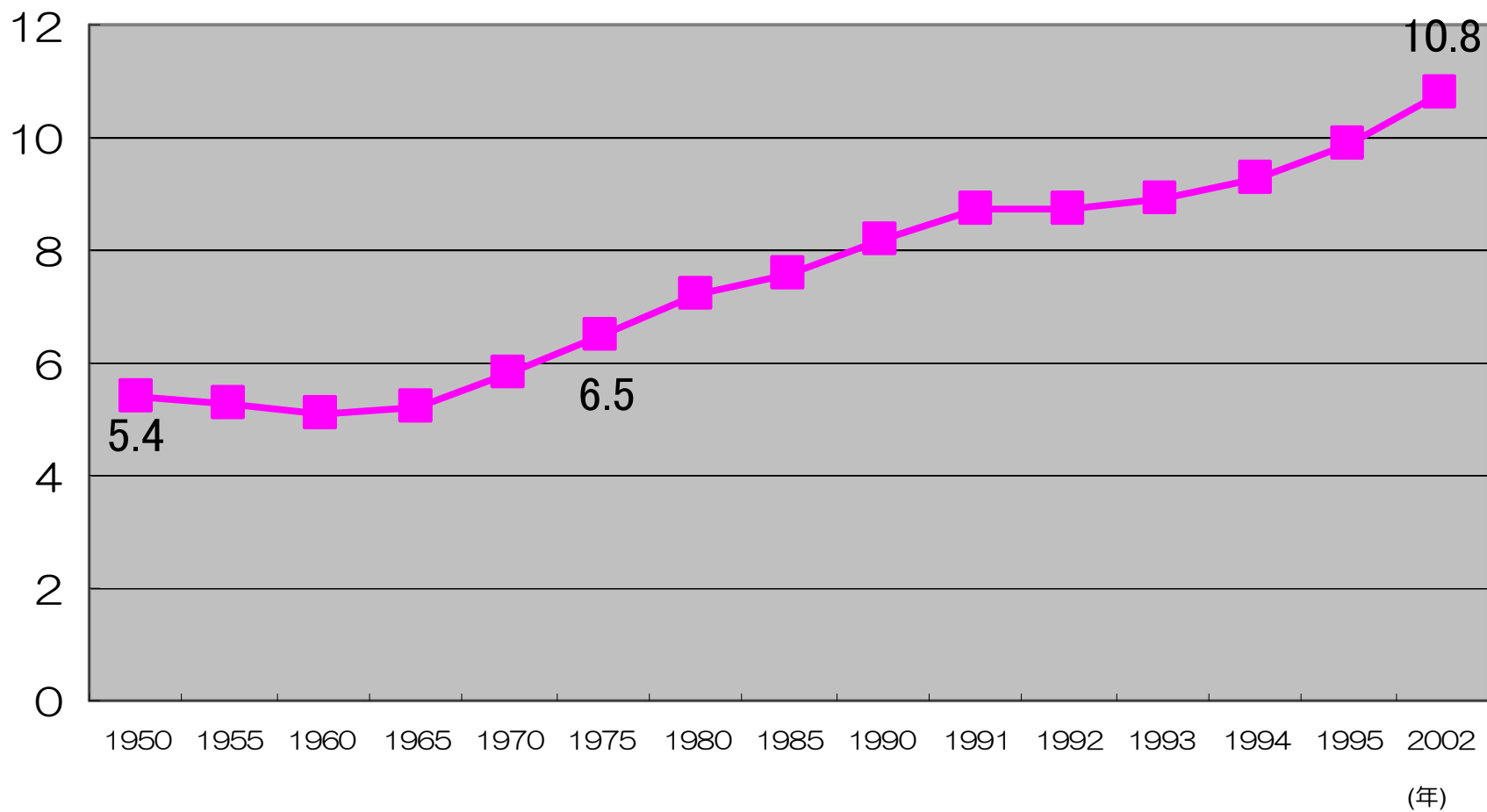
《結果》 1) 問題の明確化と定義づけ

① 乳がん 年齢調整罹患率

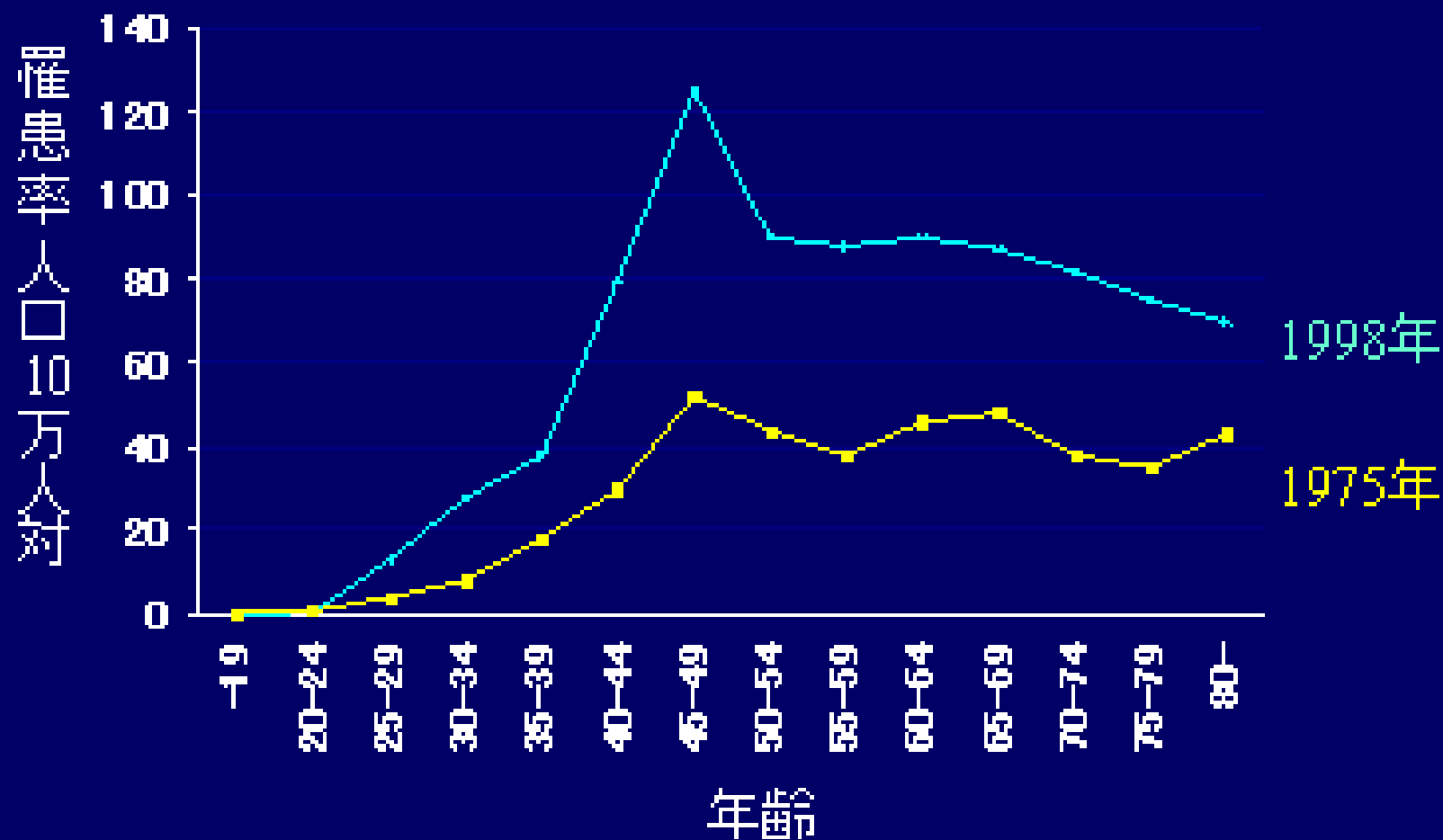


② 乳がん 年齢調整死亡率

(人口10万対・人)



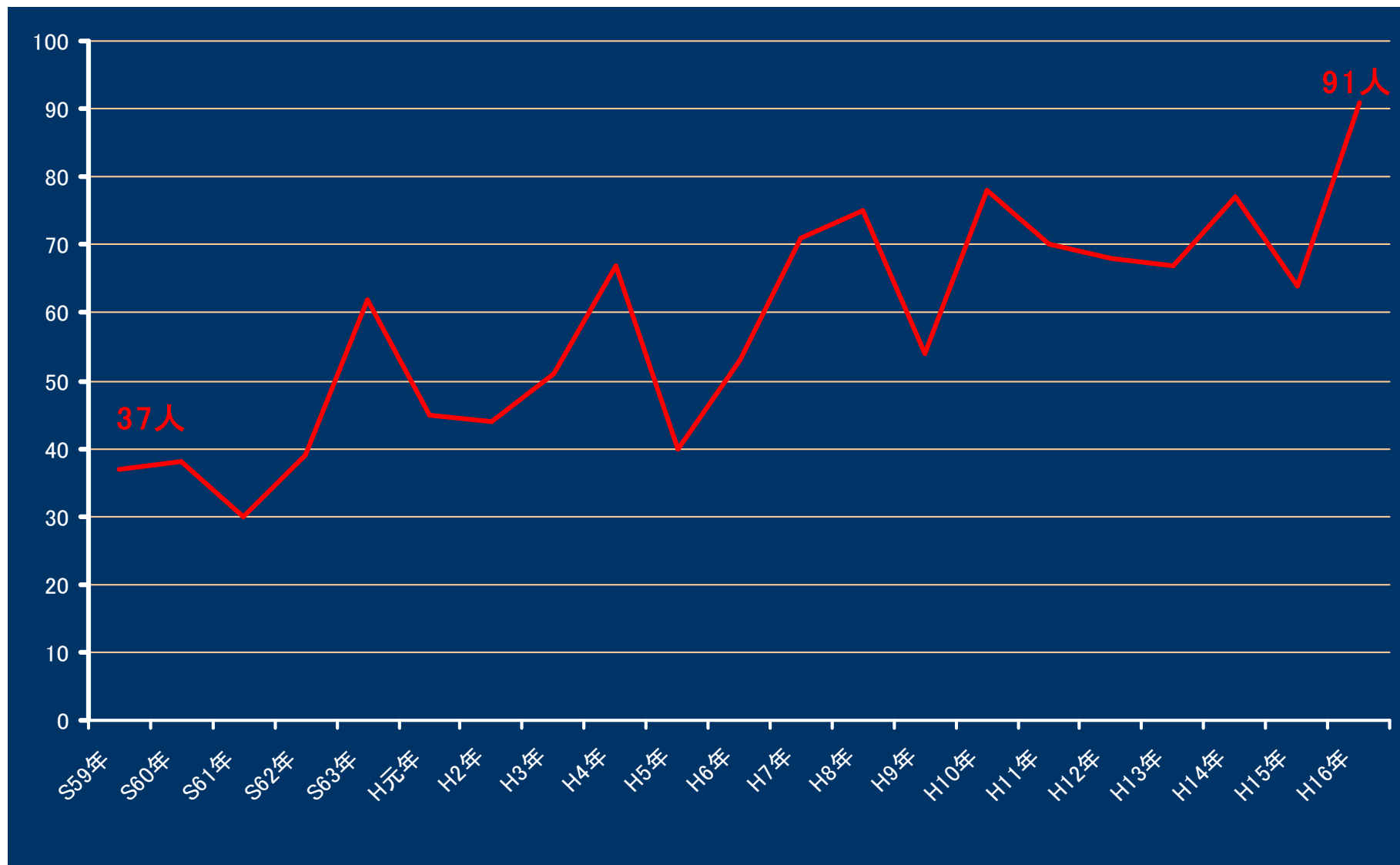
年齢階級別乳がん罹患率



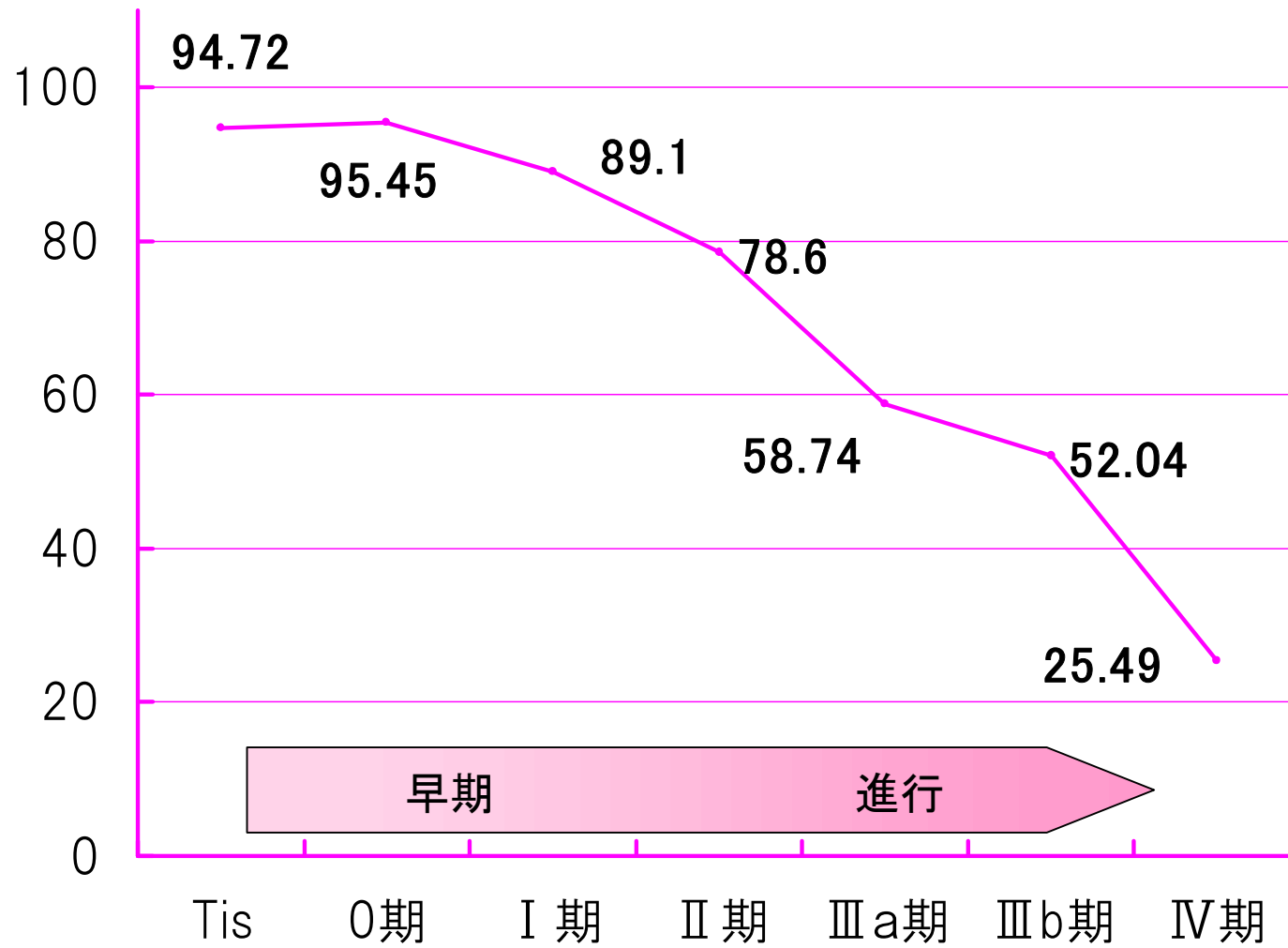
40歳台の増加率2.2倍(1998/1975)

(地域がん登録研究班)

宮崎県の乳がんの現状

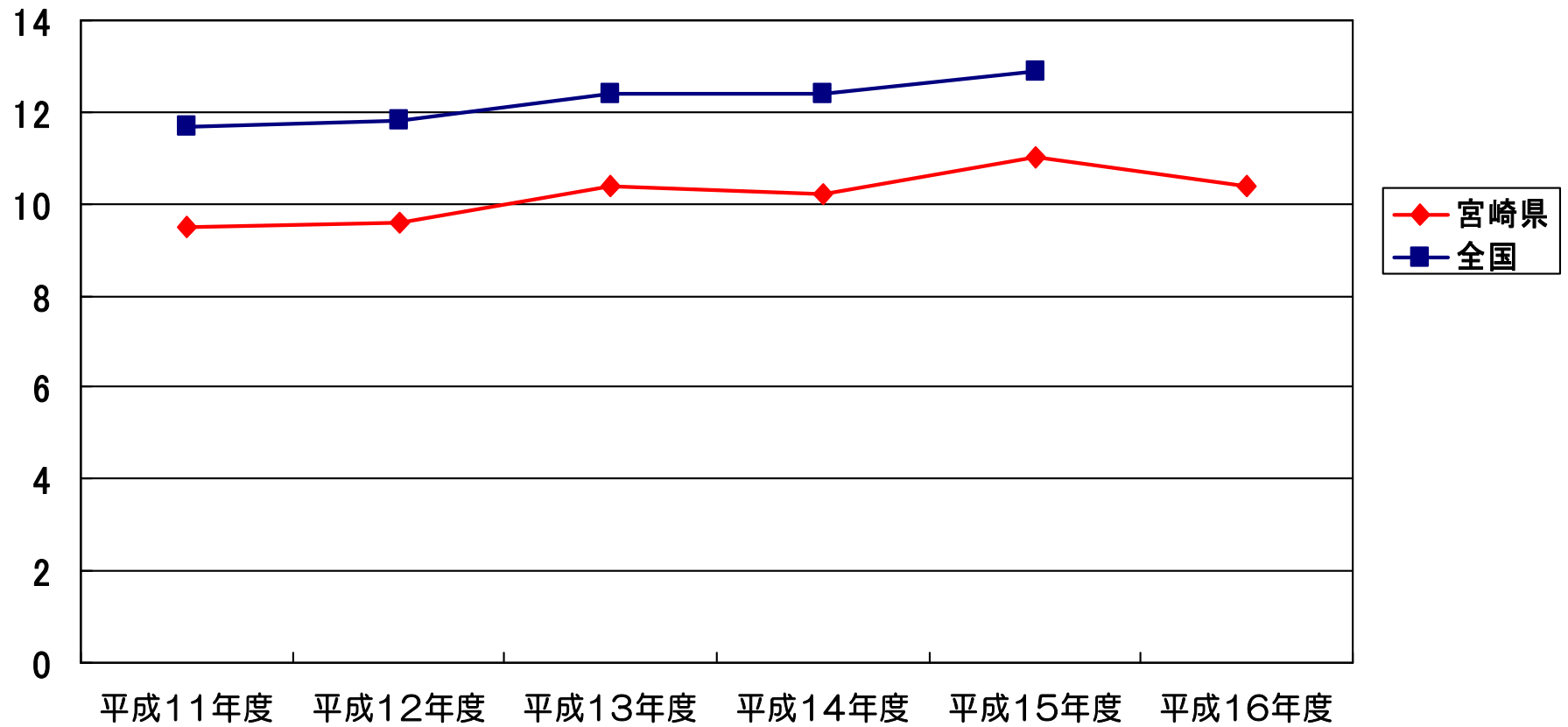


乳がんの10年生存率



乳がん検診受診率

(%)



乳がんにおける現状と問題点

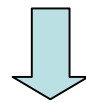
《現状》

- ・ 乳がん罹患率、死亡率の増加
- ・ 壮年女性のがん死亡原因第1位
- ・ 早期治療の場合、10年生存率は90%以上
- ・ 検診受診率は約10%

《問題点》

乳がんは、罹患率・死亡率ともに年々増加しているが、検診受診率を見る限り、県民の意識の中に乳がんへの認識は薄い。

この現状は、県の健康課題の一つである。



『乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の重要性を訴える』ことが必要

ピンクリボン



乳がんの早期発見、早期診断、
早期治療の重要性を訴えるために、
世界共通で使われているシンボル
マーク。

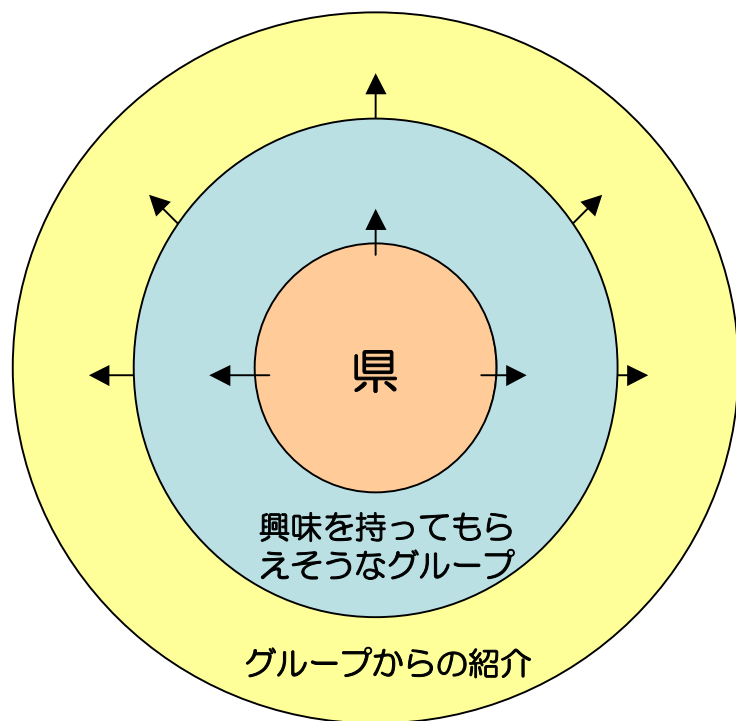
宮崎らしいピンクリボン活動

- 民間主体の活動
- 心に届くメッセージの発信
- 女性だけでなく、社会全体をターゲットとした活動



民間主体のピンクリボン活動の展開

活動の輪の広がり



勉強会の開催

- ピンクリボン活動の意義
- 賛同企業の価値
- 賛同企業の位置づけ
- 継続した活動をするために

実行委員会の設置

企業が組織の活動として、独自の展開を実施していくため、組織のトップをメンバーとした実行委員会

ピンクリボン活動の展開

①コアイベントの開催



バナーイベント



キャンペーンパレード



講演会

② 賛同企業・団体の協力により実現



ビデオレター（実行委員会長・患者の会）



J A 農産物の販売



アカペラコンサート



JALチケット
検診券の当選

③ 賛同企業による独自の活動



えれこっちゃ宮崎
宮崎銀行



県立図書館 ロビー

④ 協力企業・団体とのタイアップによる
宮崎らしいピンクリボン活動



リコーカップ



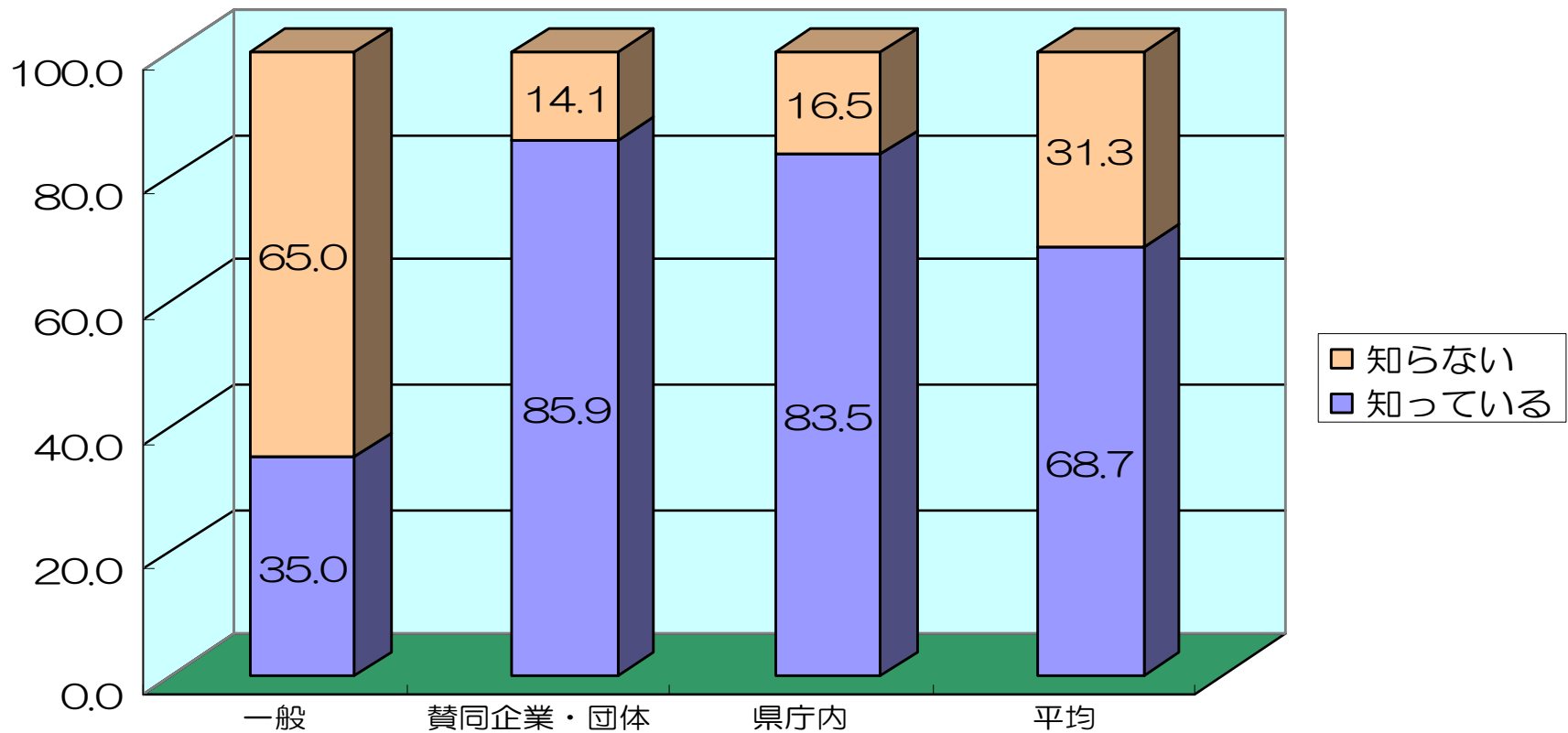
ジャイアンツ春期キャンプ



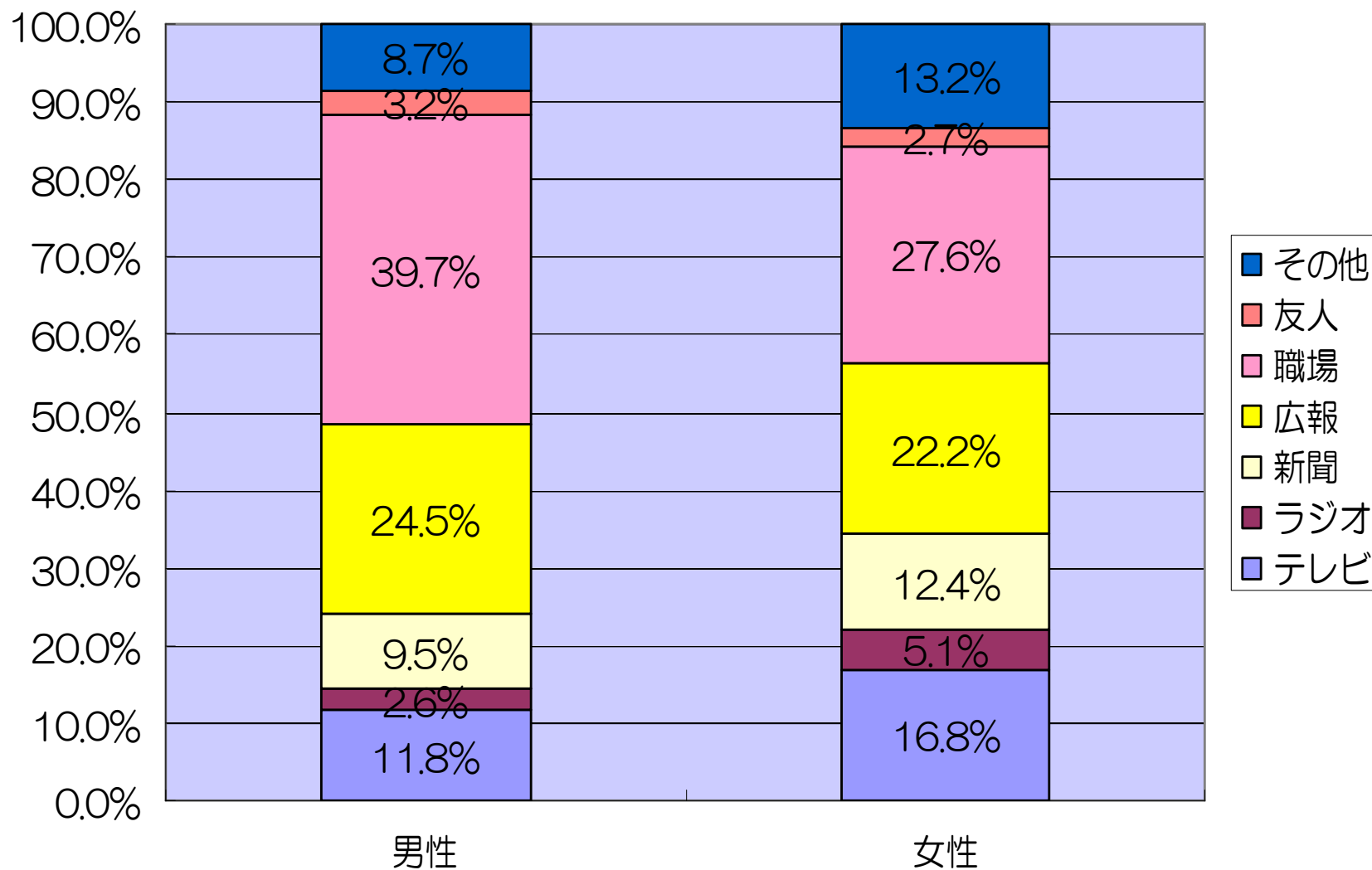
青島太平洋
マラソン

アンケート調査の結果

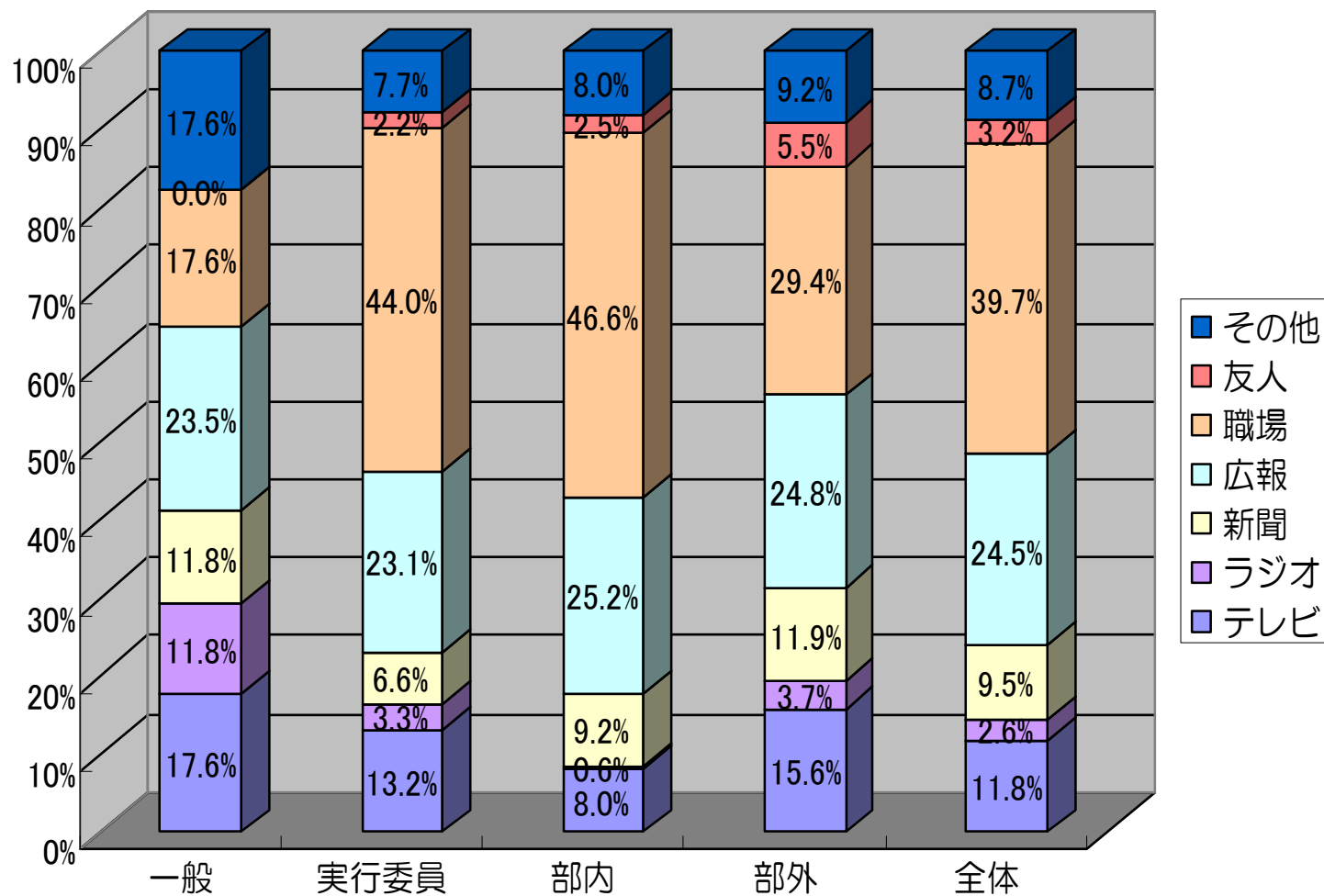
① ピンクリボン活動の周知状況



② ピンクリボン活動に関する情報源について



② ピンクリボン活動に関する情報源について（対象者別）



【考察】

《従来の対策方法》

《今後の対策方法》

